

まちづくり懇談会

令和5年度 「まちづくり懇談会」日程表

時間 午後7時から8時30分まで(予定)

次 第

1 開 会

2 町長あいさつ

3 川崎町の『まちづくり』について

(1) 町の財政状況について

■令和5年度一般会計予算の状況と重点政策

(2) まちづくりについて

■情報提供

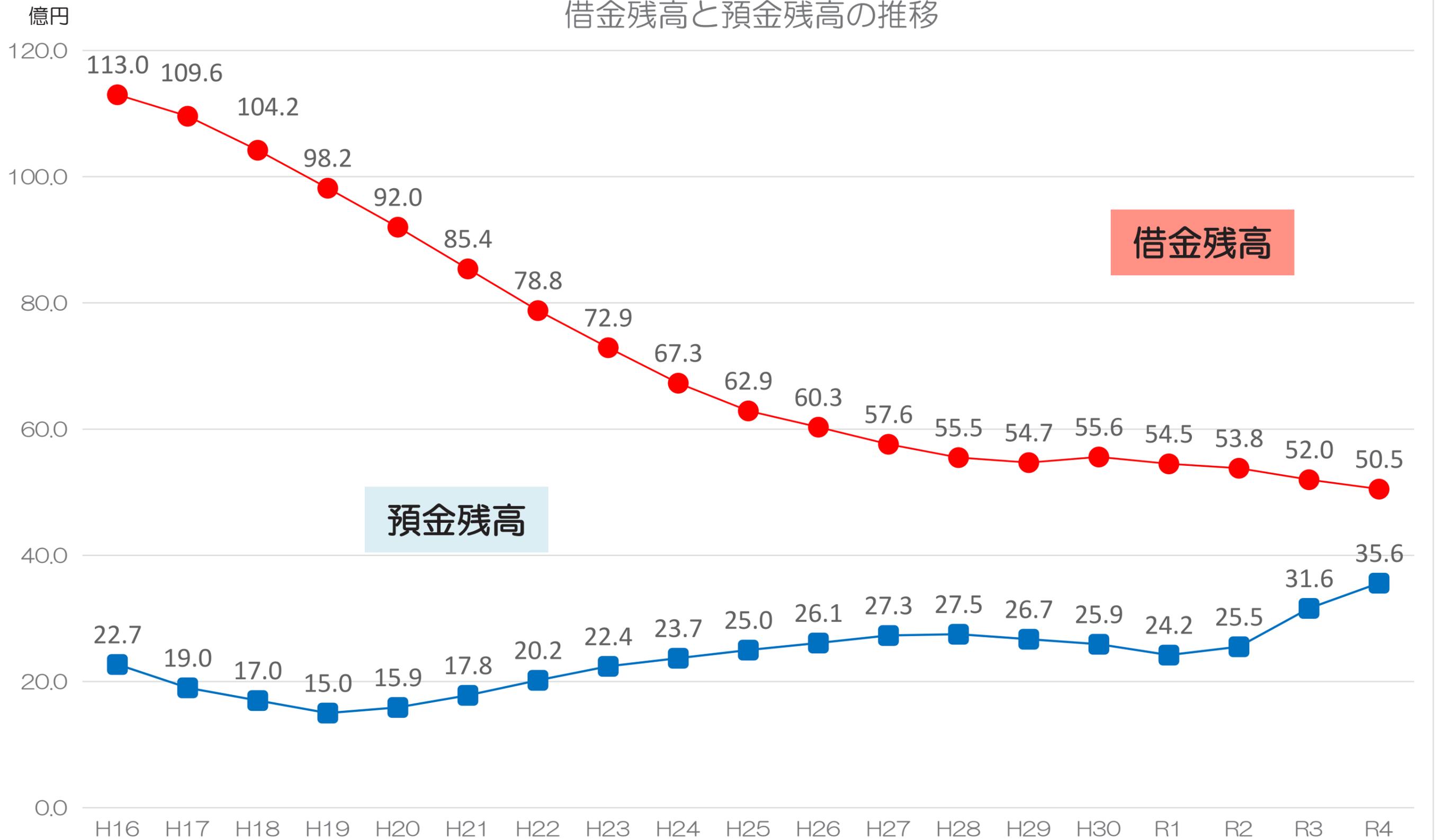
4 意見交換

5 閉 会

日 程	行 政 区	会 場
9月12日(火)	裏丁上	裏丁コミュニティセンター
	裏丁下	
9月14日(木)	中新町	中央コミュニティセンター
9月19日(火)	本荒町	本荒町コミュニティセンター
9月21日(木)	前川東	前川東部地区集落センター
10月12日(木)	前川西	前川西地区集落センター
10月17日(火)	川内一	川内地区生活改善センター
	川内北川	
10月19日(木)	川内二	天神地区生活改善センター
	川内三	
10月24日(火)	本砂金	本砂金地区集落センター
10月30日(月)	小 野	小野分館
	小 沢	
11月7日(火)	支倉台	支倉台分館

川崎町全会計の借金と預金

借金残高と預金残高の推移



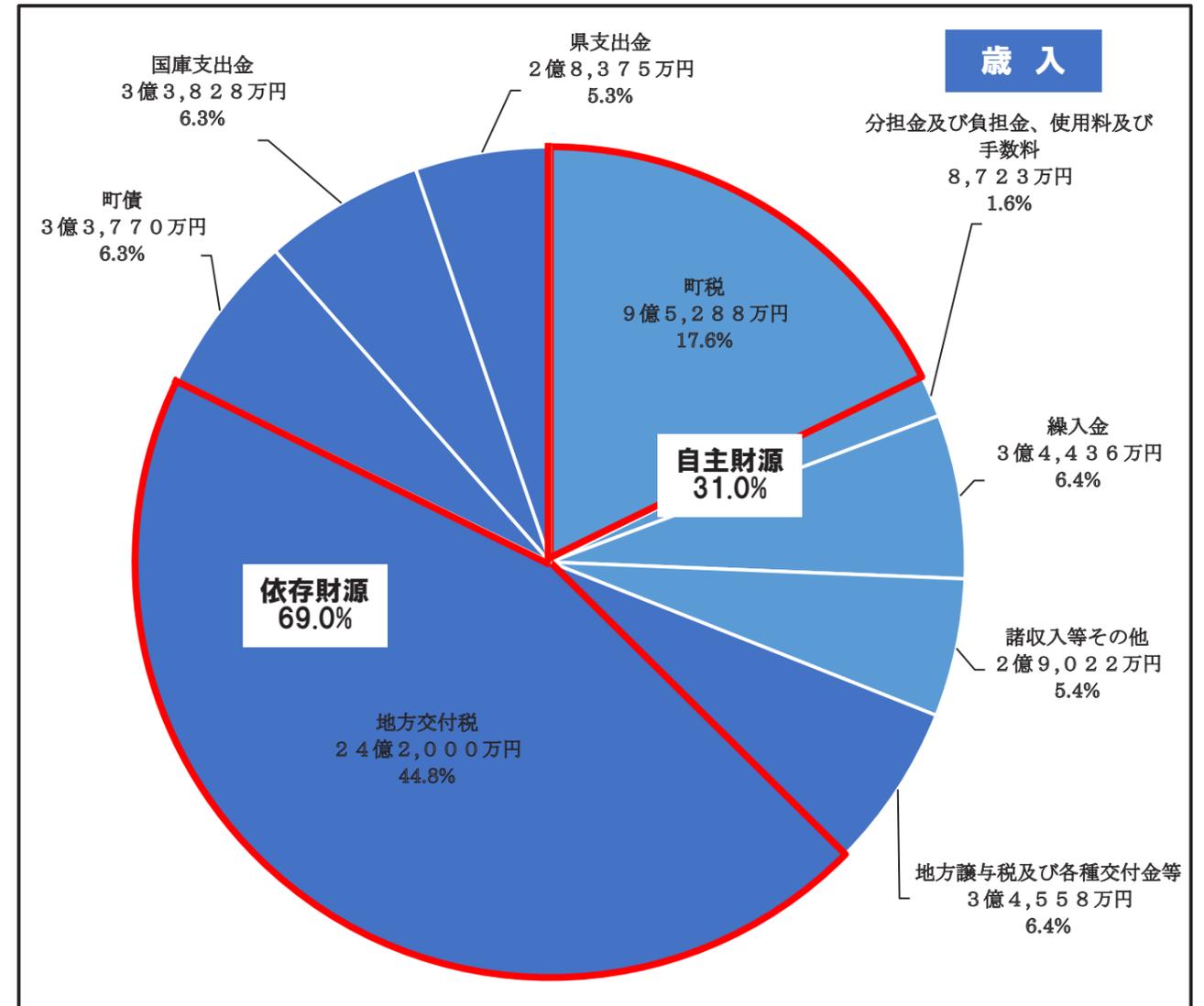
令和5年度歳出予算 目的別構成割合

歳出目的	R5		参考 (R4構成割合)			
	金額 億円	構成割合 %	川崎町 %	村田町 %	蔵王町 %	山元町 %
議会費	1.1	2.0	2.0	1.7	1.8	1.1
総務費	8.7	16.1	17.4	16.0	18.3	15.4
民生費	10.4	19.2	17.6	23.5	25.5	21.4
衛生費	7.0	12.9	12.4	10.9	10.8	5.1
労働費	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2
農林水産業費	3.6	6.8	6.6	4.3	2.9	6.3
商工費	1.9	3.6	6.1	1.6	3.2	1.9
土木費	6.5	12.1	11.4	11.1	8.5	15.7
消防費	2.5	4.7	4.4	4.4	3.8	3.5
教育費	8.5	15.7	15.8	12.1	17.1	7.8
公債費	3.7	6.7	6.1	14.2	7.5	20.6
その他	0.1	0.2	0.2	0.0	0.6	1.0
合計	54.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

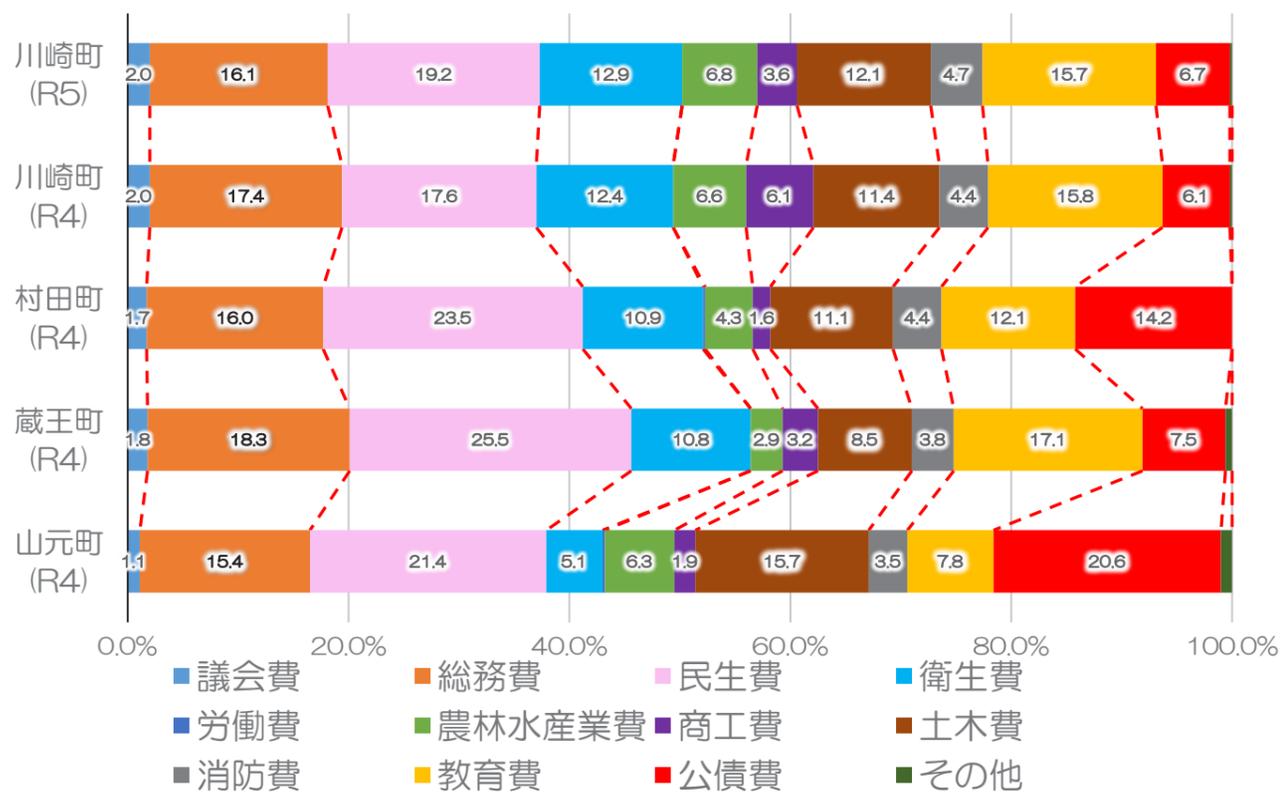
令和5年度

一般会計当初予算 54 億円

前年度比+1 億 800 万円



歳出予算構成割合 比較グラフ



一般会計及び特別会計を合わせた令和5年度当初予算の総額は10億5,158万円、前年度予算額と比較すると3億3,601万円、3.5%の増となっています。一般会計の予算総額は54億円で、前年度の当初予算額と比較すると1億800万円の増となっています。高齢者支援のタクシー利用助成額を増額したほか、老朽化した各施設の補修工事費などが増加しています。

会計	令和5年度	前年度比
一般会計	54 億円	+1 億 800 万円
国民健康保険	12 億 2,772 万円	+9,804 万円
後期高齢者医療	9,891 万円	+351 万円
介護保険	11 億 5,342 万円	+775 万円
温泉事業	1,393 万円	▲147 万円
公共下水道事業	6 億 7,200 万円	+6,200 万円
病院事業	10 億 578 万円	+3,947 万円
水道事業	4 億 7,982 万円	+1,871 万円
合計	100 億 5,158 万円	+3 億 3,601 万円

重点政策

1 人口減少・起業家支援の充実

○結婚支援^単 [1300万円]

結婚に向けた事業の実施及び、結婚成立に対する祝い金を交付。

○地域おこし協力隊^補 [3628万円]

起業・移住・地域づくり等の活動を協力隊が支援。

○移住定住促進^補 [1259万円]

起業兼移住定住サポートセンター「SPRING」及びお試し移住施設「ENGAWA」の運営、空き家バンク制度の運用など、起業家・移住者への包括的な支援を実施。

2 高齢者支援の充実

○シルバー人材センター運営補助金^補 [980万円]

シルバー人材センターの安定した運営を行うため、事業費を補助。

単…町のお金だけで実施する政策
補…国や県から全額又は一部補助を受けて実施する政策

○高齢者移送支援^補 [727万円]

高齢者の家計負担軽減と、移動手段の確保のため移送支援を実施。
①高齢者等タクシー利用助成事業
②移送サービス事業

3 子育て支援対策の充実

○乳幼児応援助成券支給^単 [336万円]

おむつなどの購入費を助成。満1歳児までの乳児に対して1カ月当たり1万円の乳幼児応援助成券を交付。

○こども医療費助成^補 [2000万円]

高校生までの医療費を無償化。

○誕生祝い金支給^単 [400万円]

子育て支援により、誕生祝い金を支給(第1子・第2子10万円、第3子以降30万円)。

○魅力発信^単 [1236万円]

川崎町の魅力を町外へ発信するため、新聞・YouTube・ラジオ・情報誌等でPR事業を実施。



▲公式ユーチューブチャンネル

お笑い芸人「バクコメ」の2人が、川崎町の様々な場所やイベントに訪れ、魅力を発信中！
ぜひ右の二次元コードからご覧ください！

○観光イベント事業等助成^単 [540万円]

観光産業の活性化を図るため次の事業を実施・運営する実行委員会に対し助成金を交付。
①支倉常長まつり事業(380万円)
②古賀政男顕彰事業、青根温泉感謝祭事業(160万円)

○心のケアハウス運営支援^補 [702万円]

不登校傾向にある児童生徒の早期学校復帰をサポートするため、ケアハウスを運営。

○放課後児童健全育成^補 [4841万円]

放課後や夏休みなど、児童を預かるため児童教室を開設。

○学校給食費無償化^補 [2809万円]

小中学校に通学する児童生徒の学校給食費を無償化。



6 生活基盤・インフラ整備

○町道補修^補 [4500万円]

町道の舗装補修を実施。
①支倉台2号線
②大柳・前川線
③町道みちのく公園線 ほか

○橋梁補修^補 [1億1050万円]

古くなった橋梁の補修を実施。
①川崎・永野線新町橋
②大柳北川線内木戸橋
③みちのく公園2号線大針橋 ほか

○町営住宅整備^補 [6391万円]

中原住宅(1棟2世帯型)の新築工事(1棟)を実施。

○町営住宅改修^補 [2927万円]

①北原住宅(7戸・屋根改修1棟)
②青根厚生住宅・伊勢原住宅(計8棟解体)

○消防車両購入^補 [1478万円]

消防団笹谷班配備用として消防ポンプ自動車を買入れ1台購入。

4 健康増進策の充実

○新型コロナウイルス予防接種^補 [1996万円]

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのワクチン(オミクロン株対応)接種費用と、円滑にワクチン接種を実施できる体制の整備。

○こどもインフルエンザ予防接種助成^単 [394万円]

子供たちの健康増進と子育て支援のため、インフルエンザ予防接種の費用を助成。

○妊婦産婦無料健診^単 [401万円]

妊婦健診(14回分)、産婦健診(2回分)に係る費用を助成。

○疾病予防^補 [5279万円]

65歳以上のインフルエンザ予防接種、乳幼児予防接種事業及び各種がん検診、風しん抗体検査・予防接種事業等の実施。

5 農業・観光業振興策の充実

○有害鳥獣対策^補 [2264万円]

有害鳥獣処理施設経費、有害鳥獣防止施設整備費、野生動物忌避

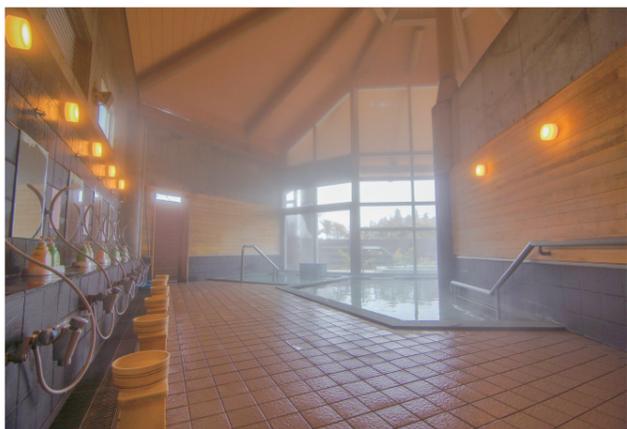
7 その他

○学校施設整備^補 [1825万円]

①川崎小学校照明器具設置、第二小学校オイルポンプ等修繕、川崎中学校受電設備更新などを実施(1555万円)。
②新型コロナウイルス感染防止対策として、小中学校の消毒作業を実施(270万円)。

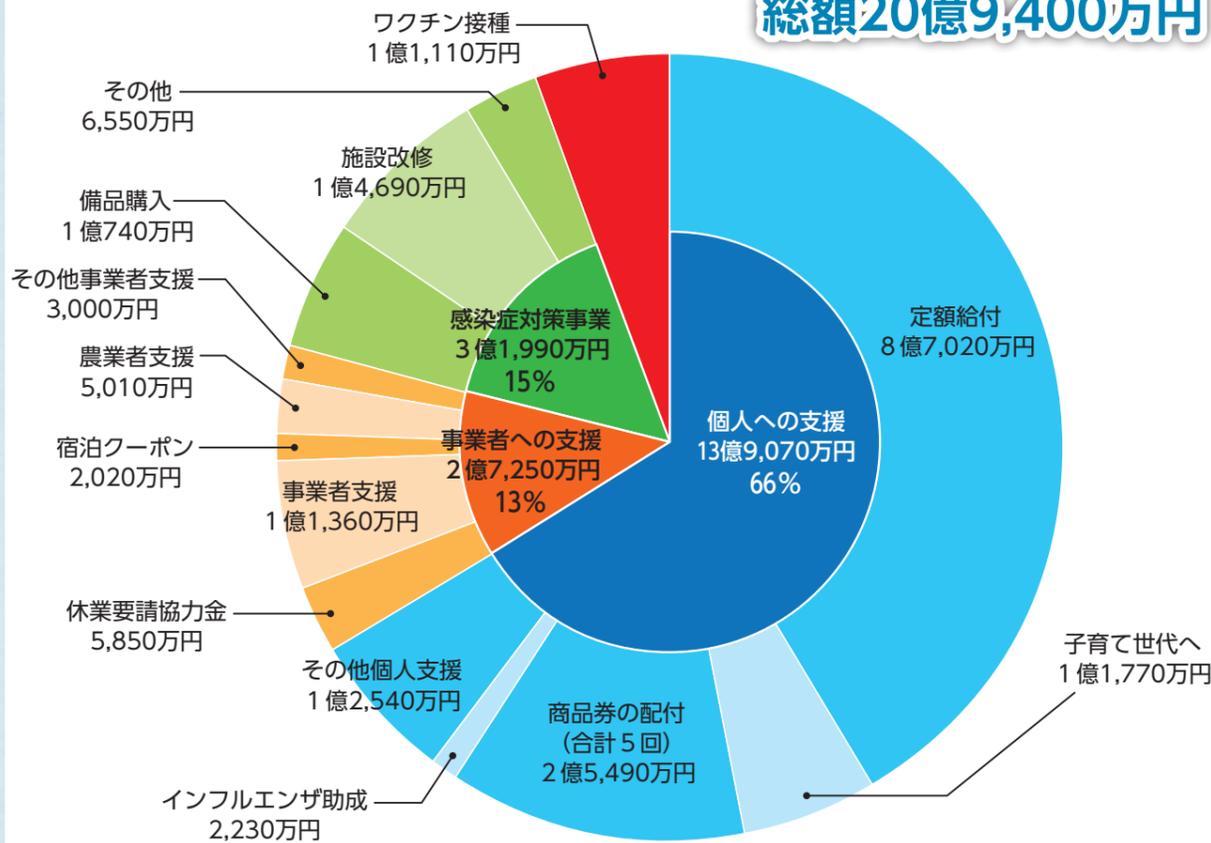
○やすらぎの湯ポンプ等修繕工事^単 [3137万円]

やすらぎの湯の維持・継続のため、湯湯ポンプ等の修繕を実施。



この3年間の新型コロナウイルス感染症対策 経費内訳

総額20億9,400万円



※項目ごとの金額は端数処理をしているため合計とずれが生じています。

①定額給付	8億7,020万円	全町民に1人あたり10万円の現金給付
②子育て世帯へ	1億1,770万円	令和3年は2回、合計4回の支援を実施
③商品券の配付	2億5,490万円	3年間で合計5回の配付。他の市町村にない回数
④インフルエンザ助成	2,230万円	コロナと同時流行を防ぐためワクチン接種助成
⑤その他個人支援	1億2,540万円	低所得者、要介護世帯への支援
⑥休業要請協力金	5,850万円	感染対策から営業時間を短縮せざるを得なかった事業者への支援
⑦事業者支援	1億1,360万円	コロナにより売り上げが減収した事業者への支援
⑧宿泊クーポン	2,020万円	町内の宿泊施設への支援
⑨農業者支援	5,010万円	米価下落・飼料価格高騰に対する農業者への支援
⑩その他事業者支援	3,000万円	事業者へ入手困難だったマスク等の購入支援
⑪備品購入	1億740万円	空気清浄機、サーマルカメラ(体温測定器)、小中学校オンライン授業用機器整備など
⑫施設改修	1億4,690万円	各施設の換気効率を向上させるための整備、B&G海洋センターの改修など
⑬その他	6,550万円	小中学校の消毒作業、観光誘客のための情報発信
⑭ワクチン接種	1億1,110万円	2年間で5回に及ぶワクチン接種の費用

コロナ対策を振り返って!!

町長が
お答えします

コロナに苦しめられて3年。加えて、国際情勢の不安定による物価高騰が生活を直撃しています。この間、川崎町では総額20億9,400万円の予算を投入して、107の事業を実施してきました。

もちろん、これらの事業は、町民の皆様の苦境を思い、町議会からの要望を尊重して立案された

ものであります。改めて、この3年間のコロナ対策を振り返るとともに、先月に発行された「議会情報便」で町民の方々から寄せられたご意見について、お答えします。

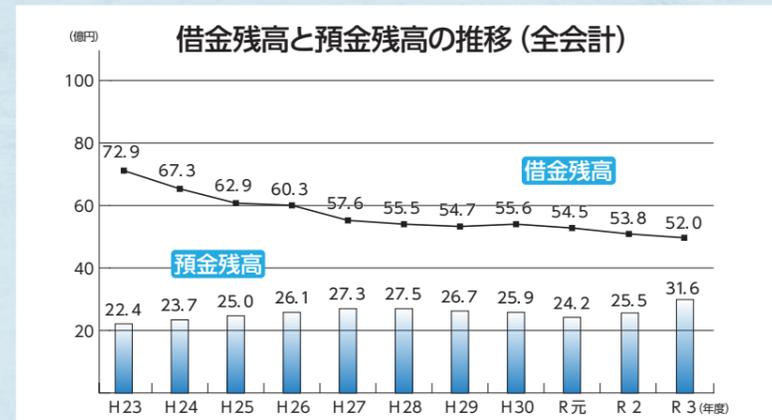
町民の皆様の声

もらうことはありがたいのですが、町には金があるんだなあ。(60代女性)

町の財政は、決して楽ではありませんが、この3年間で投入したコロナ対策費20億9,400万円のうち、約94%にあたる19億6,000万円は、国からの交付金を活用することで町の預金を取り崩さず事業を実施しました。下のグラフを見てください。議会の要望を尊重し、職員も努力を重ね、財政をやりくりし事業を進めた結果、コロナ禍の3年間で約7億円、町の預金を増やし、借金を約1億円、減らすことができました。

町外に勤めています。商品券の配付は大変ありがたいものです。今後期待します。(30代女性)

商品券の配付については、3年間で合計5回。令和2年度は、全世帯に1万円分でした。世帯によって人数が違うとご意見もいただいたところですが、同じころ、全町民に1人あたり10万円の現金配付がありました。これだけで左のページの円グラフに、大きく示されている定額給付、8億7,020万円になっていま



商品券をバラまくより、事業者へもっと支援すべきでは。(60代男性)

左のページの円グラフを見てください。町内で事業を営んでいる方へは、事業継続支援金や休業補填、農家支援などを実行してまいりました。合計2億7,250万円となりますが、確かに十分ではないと感じます。さらなる支援を、と議会からも要望されましたが、コロナ禍がいつ終わるかが読めない状況で、町の財源を確保しておかねばならず、町民一人ひとりの生活を優先し商品券配付の回数を増やしたものです。

低所得者の世帯と同じくらい生活に困っている人も、支援の対象に加えないと不公平では？(70代女性)

コロナ禍と物価高騰により、各世帯が、大変、ご苦労なさっている状況だと思いますが、その状況に合わせた支援を、きめ細かく実施することが困難なため、低所得者の世帯などで区分けして支援しております。また、不公平さを少しでもなくすために、他の市町村よりも多く、商品券の配付という政策をとりました。ところで、低所得者の世帯数は約900世帯で、全世帯数3,391世帯の26・5%になっています。

はい、保健福祉課です！

写真左から、齋藤竣介主事、大松弘行主査、高松奈介主事、大宮電也課長補佐、岡崎一也課長補佐

令和3年4月24日、ワクチン接種予約始まる。5月10日から実施。待望の国家事業だが、コロナ発生からすでに1年以上が過ぎていた。マスクはもとより、ワクチンも国内にはない。ワクチン確保に翻弄される自治体。難局にオール・カワサキで臨む職員たち、必死だ。



4月24日から、65歳以上の方を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種の予約受付が開始されました。5月10日からは各地区ごとに接種が開始されました。(関連：13ページ)

上の写真、2年前の広報の表紙。緊張感がビシビシ伝わってきますが、ワクチン接種の予約を受け付けているところ。やっとワクチン接種。しかし、この国家事業、どの市町村も「網渡り」の連続！仙台市のコー

職員たちの土壇場

私たちは、3年間、町民の暮らしと健康を守るため、様々な政策を実行してきました。議会からは、この間、コロナ関連の一般質問を23件頂戴し、議会の質疑も27件を数えました。このような経緯から、他の市町村にない手厚い商品券の配付、带状疱疹やインフルエンザのワクチン接種助成等の川崎町独自の政策が実現したわけです。

暮らしと健康を守る

売上げが落ち込んでいる時に支援金をいただき、とても助かりました。感謝しています。(60代女性)

売上げが減少した方々に、令和2年度は20万円、3年度は10万円、4年度にも10万円と3年連続で支援。町内の約280の事業者の方から申請がありました。少しでも、お役に立てれば幸いです。



町長は毎日のように接種現場へ。企画からチラシ作成まで細かく指示を出します。

川崎町長 小山 修作

令和5年3月1日

職員たちは、本当によくやってくれています。感謝しかありません。

ルセンターに不満続出、打ち手不足、会場確保できず、先着順に予約電話殺到、自治体悲鳴！等々。テレビや新聞は連日、状況を報道しました。多くの市町村が電話予約を業者に委託するなか、我が町は、保健福祉課が対応、保健師も待機。皆さんのどのような問い合わせにも応じることができましたし、直接窓口に来る人のために、土日も窓口で対応。もちろん、医師や打ち手不足は、川崎病院が担っていたので心配ご無用。

このようにして、職員が土壇場で馬力をかけて取り組み、経費を削減し、その分、商品券などに充てることができました。

職員たちは、本当によくやってく



消毒作業は、シルバー人材センターが行っています。陽性者が出たため防護服を着ています。



きれいになったプールでご機嫌♪

これまでの対策は評価できます。今後も継続で支援してもらえれば心配しています。(60代女性)

小中学校の消毒作業など継続しなければならぬ事業もありますが、定額給付や商品券の配付などの支援は、町のお金だけで事業をすることが難しいのも事実です。国からの交付金と町の財政を常に考えながら政策を練っていきたいと思います。いずれにしても、ここだ、という時には、町の貯金を取り崩しても、やらねばなりません。議会の皆さんとともに決断してまいります。

B&Gのプールが授業で使えるようになり安心しました。(40代男性)

各小中学校のプールが老朽化したことでB&Gの施設を利用する機会が多くなるため、感染症対策を実施しました。令和5年度には、町内すべての児童生徒がプールの授業で使用する予定です。

また、マラソン大会や中総体の会場として利用される総合運動場についても、屋外でのスポーツ推進を図るため、トイレの洋式化など改修したところです。昨年の秋のレイクサイドマラソン大会では、ピッカピカのトイレが評判となりました。

▶町で作成した带状疱疹のチラシ(一部)

つづらこ(带状疱疹)は怖い、痛い!

川崎町では県内市町村に先がけて
予防接種費用の6割を助成します。

つづらことは?



つづらこは、水ぶくれや赤い発疹が出てとても強い痛みを伴い、その痛みは3~4週間ほど続く、手ごわい病気です。

どうしてワクチンを接種するの?



商品券はありがたいですが、現金の方がもっと良かった。(40代女性)

確かに、現金であれば、どこでも使えて便利だと思いますが、商品券の配付は、町民の皆さんへの支援と併せて、町内の商店の利用を促進するために実施しました。地元の商店がなくなれば、困るのは地元の人たちだと思うのです。ご理解を。

肥料・飼料高騰支援者が認定農家だけでしたが、対象者を広げるべきではないでしょうか。(60代男性)

今回の支援方針を決定する上で、すべての農家を対象にすべきか検討しましたが、国の交付金を活用し実施するため事業費には上限を設けなければなりません。肥料・飼料高騰は、すべての農業者に影響を及ぼしておりますが、事業費の上限があるため認定農業者のみの支援となりました。改めて、ご理解を。

去年の夏、带状疱疹になり、治るまで3カ月もかかる重症でした。新聞で川崎町がワクチン接種に高額な補助を出しているの知り、驚きました。本当に素晴らしいです。

利府町・伊藤恵子さん(60代女性)

伊藤様から励ましのハガキをいただきました。町内でも感染された方が多く、コロナウイルスによって带状疱疹が発症しやすいとの研究結果もあり、ワクチン接種への助成を決定。県内の市町村では川崎町だけであり、来年度からも町費で継続します。また、同時流行が心配されるインフルエンザ予防接種へも他の自治体に勝る補助を継続していきます。

1 空き家バンク

不動産業者が取り扱わない、または存在が知られていない空き家の情報を収集し、空き家を探している方へ紹介する制度で、平成 25 年度に制度化しています。平成 27 年 2 月から空き家バンク制度の充実（補助金事業の導入）に取り組み、現在に至ります。



NEW 新たな取り組み

●新築住宅取得補助金 [R4:7 件]

45 歳以下の方で町内に新築を購入・建てた方に 30 万円を交付します。

●「事前登録制度」の開始

将来空き家になり得る物件の事前登録を行う制度を開始しました。事前に空き家バンクに登録することで、空き家期間が短くなり、防犯や修繕費用が少なく済む等、多くのメリットが推測されます。

●空き家調査

令和 4 年度に町内の空き家等の実態調査をシルバー人材センターに委託し、現地調査やアンケート調査を実施しました。

今後は調査結果を基に空き家所有者へ物件登録を促します。

○アンケート発送: 414 件 (回答: 191 件)
[アンケート結果] ※複数回答あり

- ①空き家バンクに興味がある…… 70 件
- ②空き家バンクの登録を検討中… 37 件
- ③事前登録制度に興味がある… 46 件

お問い合わせ
地域振興課 (TEL0224-84-2117)

ようこそ川崎町へ移住定住促進補助金

種類	補助率	限度額
住宅修繕改修	経費の 2 分の 1	15 万円
クリーニング	経費の 2 分の 1	10 万円
引っ越し	経費の 2 分の 1	10 万円
空き家取得	経費の 2 分の 1	50 万円
住宅家賃補助金	月額家賃 - 3 万円 月額 1 万円 (3 年間)	
新築住宅取得	経費の 2 分の 1	30 万円

空き家バンクの実績 (R5.3.31 現在)

年度	物件登録数	利用登録数	契約数 (移住世帯)	契約数 (移住世帯以外)	契約数 合計	移住者数 (うち未成年数)
H25	0	1	0	0	0	0
H26	8	8	0	0	0	0
H27	22	25	6	0	6	15 (3)
H28	16	22	8	1	9	19 (7)
H29	18	35	11	1	12	30 (10)
H30	13	34	9	2	11	17 (5)
R1	21	36	8	3	11	19 (5)
R2	7	49	13	5	18	28 (7)
R3	12	50	6	8	14	15 (5)
R4	11	38	6	2	8	11 (2)
合計	128	298	67	22	89	154 (44)

2 地域おこし協力隊

川崎町では平成 29 年度から「地域おこし協力隊」制度を導入し、「SPRING」の運営と移住支援を主な業務として毎年採用しています。令和 5 年 9 月 1 日現在、8 名の地域おこし協力隊が活動しています。

地域おこし協力隊は、移住者という視点から町の魅力を発掘し、ワークショップなどのイベントを企画・運営しています。地域の魅力・資源を再発見するなどして、新たな賑わいづくりに取り組んでいます。

また、「SPRING」の他にも林業や町の施設（るぼぼの森）に常駐した地域おこし協力隊も令和 4 年度から採用しています。



地域おこし協力隊採用実績

年度	採用人数	移住元
H29	2 名 (男 1 女 1)	東京都、仙台市
H30	2 名 (男 1 女 1)	京都府、神奈川県
R1	2 名 (男 0 女 2)	仙台市、神奈川県
R2	3 名 (男 2 女 1)	仙台市
R4	6 名 (男 4 女 2)	仙台市、蔵王町、山形県
R5	3 名 (男 2 女 1)	仙台市、村田町

任期終了後の進路

- WEB デザイナー
- 飲食店経営
- 小売店 (雑貨・量り売り)
- 宿泊業 (百の宿)
- 農業



移住定住・起業サポートセンター「SPRING」

「SPRING」は、移住定住・起業希望者の総合窓口としての機能のほか、コワーキングスペース等を備えた多機能型施設として平成 29 年 4 月に運営を開始しました。

また、令和 3 年度から観光協会も常駐しています。

- 営業時間…午前 10 時から午後 5 時まで
- 定休日…月曜日 (祝日の場合は翌営業日)、お盆、年末年始
- 利用料…無料 (会員登録必要)
- お問い合わせ…TEL0224-51-8789



川崎病院の運営状況について

町内人口が減少し続ける状況下において、新型コロナウイルス感染症流行の影響による診療控えや、慢性定期薬処方期間の延長を国が進めたことで、ここ数年は外来患者数が年間2万5、6千人前後まで減少してきています。

一方、入院患者数については、仙南管内における高齢者福祉施設やみやぎ県南中核病院等との連携を強化し、他市町村からの患者も積極的に受け入れることで、入院患者数を確保している状況にあります。

下の【表1】については、平成27年度から令和4年度までの患者数の推移を表しており、水色で示している外来患者数は、平成29年度頃までは年間3万人前後を維持していましたが、その後は徐々に患者数の減少がみられています。

今年に入り、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきたこともあり、外来患者数については僅かに増加しています。

入院患者については、地域医療連携室のスタッフを拡充し、入退院における患者様へのサポートを強化したことで、ベッドの回転率も向上し、患者数の増加にもつながっています。

経営面では平成27年度以降、入院患者の増加に伴いゆるやかな改善傾向にあったものの、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行により入院患者数が大幅に減少したことで病床の利用率も低迷しました。

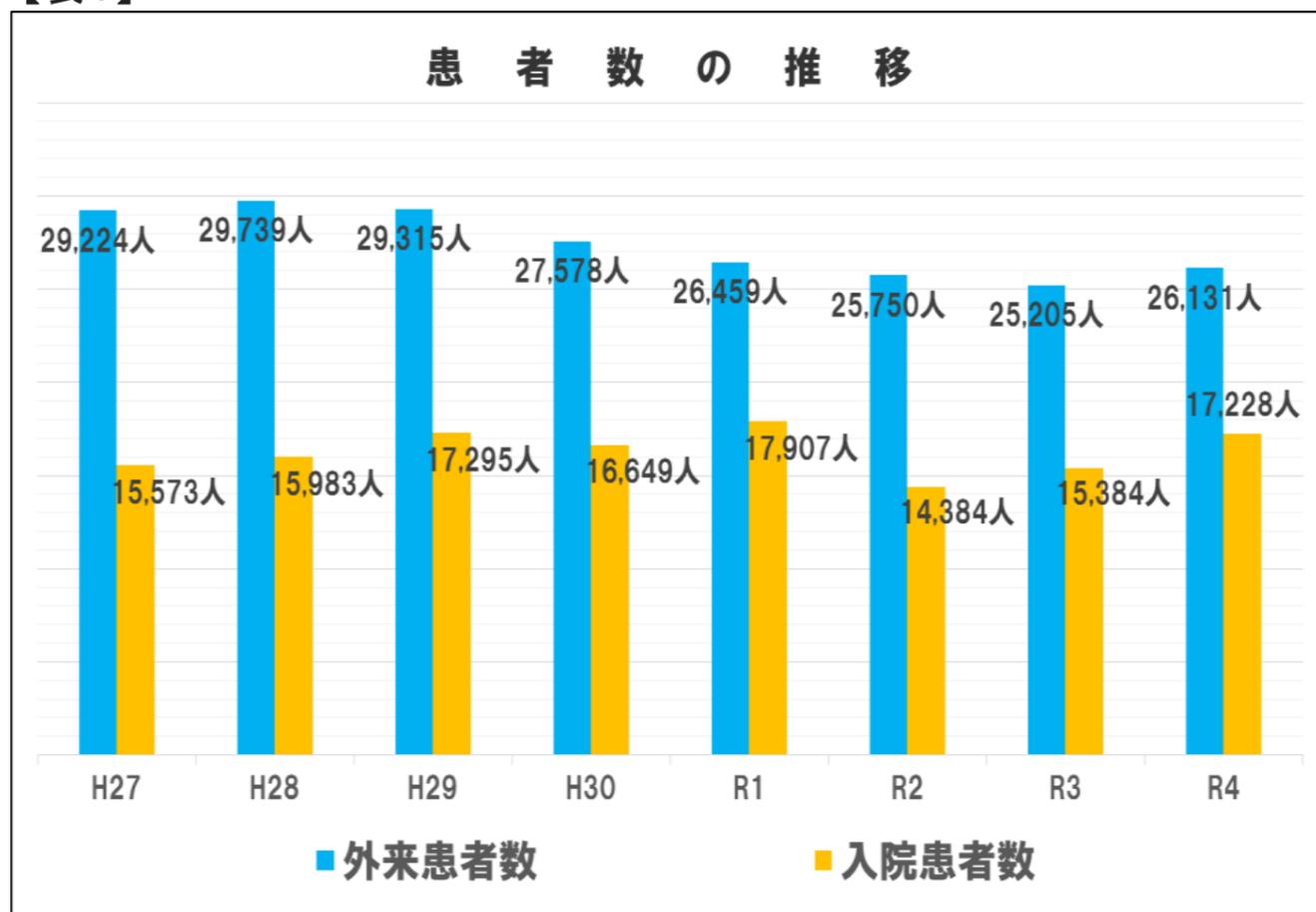
当院では、当面の運営資金を確保するため、令和2年度において5千万の追加支援を町より受けたことで、安定的な医療の提供を行うことができています。

下の【表2】については、町の一般会計から病院へ繰り入れされた金額と、病院の収支決算額の推移を表したものです。

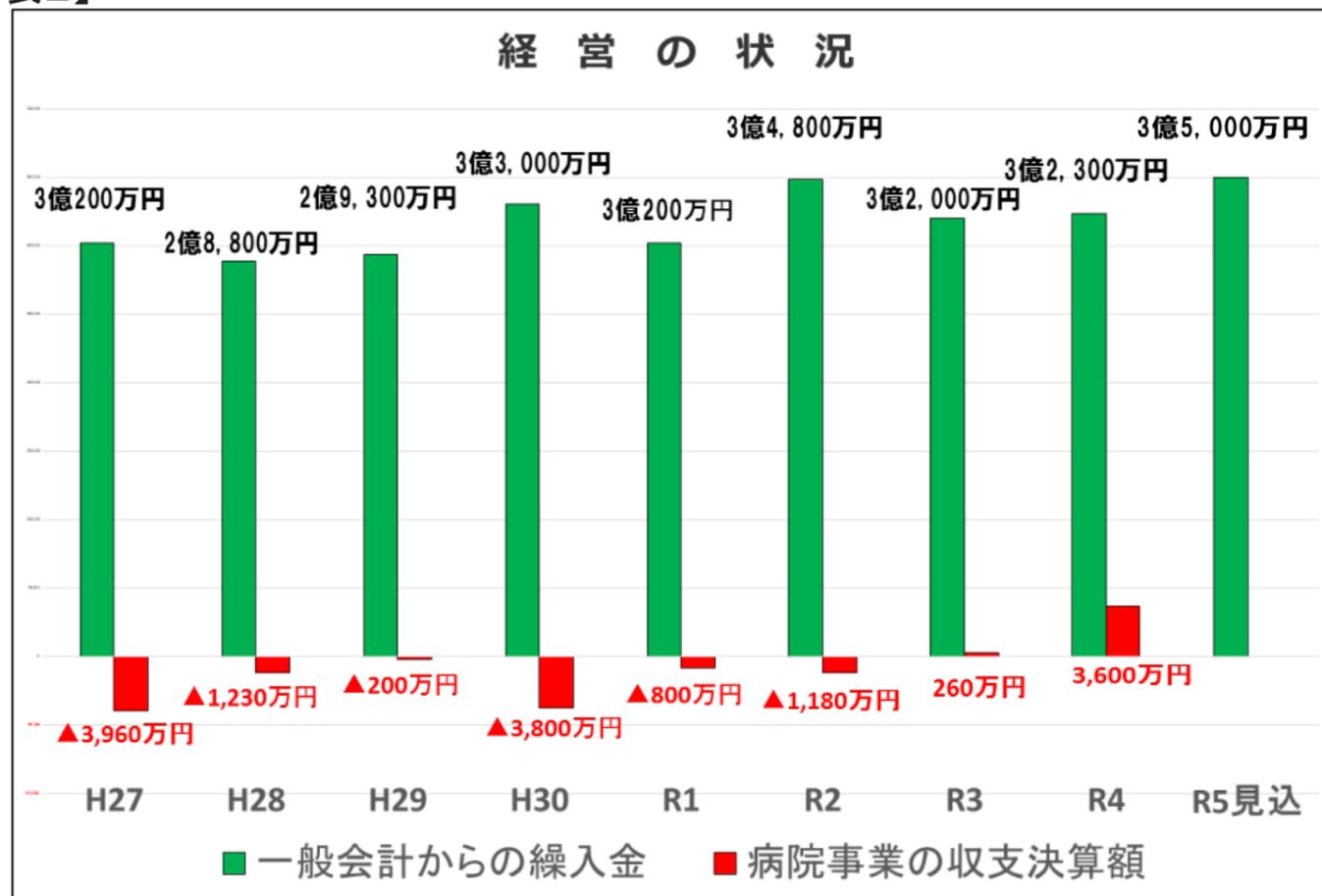
ここ数年、町から繰り入れされた金額は3億円前後となっており、収支決算においても、▲1,000万円前後での決算状況となっています。

当該繰入された金額については、特別交付税として措置され、一部金額は町に交付されることとなるものの、病院の安定的経営の為には、本業（入院収益、外来収益、健康診断等の公衆衛生活動収益）による収入を増やすことが求められており、患者の確保対策が今後の一層重要なテーマとなっております。

【表1】



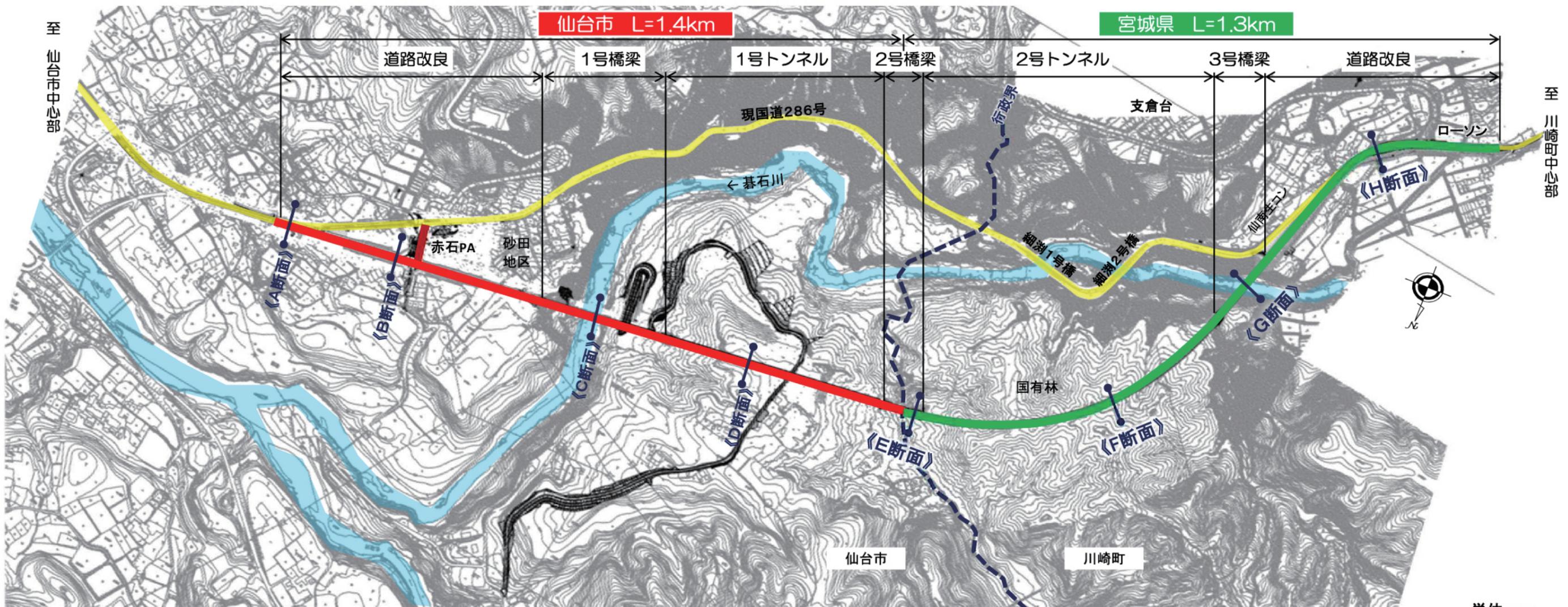
【表2】



【参考】

病床の利用率

H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
72.5%	75.5%	81.7%	78.6%	84.4%	67.9%	72.7%	81.4%	86.0%



単位: mm

